

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会 筑穂支所 児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日を通して、平均利用児10人に対して職員が5人で対応しています。送迎時は、生活介護の職員も対応しています。子どもたちは年齢もさまざまで多職種の大人と関わることが出来ます。月に1度、外部の音楽療法の先生や療育相談の先生も来ています。	朝礼や終礼、職員会議でいろいろな職種の職員で意見を出し合っ、子どもや保護者が今困っていることについて検討し対応しています。多くの気づきで子どもの変化や保護者の相談に対して、迅速に動くことに取り組んでいます。	保育士や児童指導員、介護福祉士、看護師と専門性を高めるため、積極的に研修等に参加しアドバイス出来るように努めています。
2	施設が児童デイサービス・生活介護・通所介護・特養と併設しているため、子どもから大人、高齢者と接することができます。季節の行事等で、一緒に体験することができます。ふくしのつどい等に作品を展示し、見学や催し物に参加される家族もいます。	毎年、施設内だけでの個々の作品ではなく、ふくしのつどい等に作品展示出来るように季節に応じて2パターン子どもたちが共同で作品をつくり、喜んでもらえるように取り組んでいます。	製作活動が年齢に合わせてステップアップできるように、個々の力に合わせてハサミを使う等取り入れていきたいと思っています。
3	活動に合わせて広い活動部屋・お集まりや午睡用の部屋・プレイルーム・東棟ホール・砂場等を使うことができます。お天気の日はお散歩に行きますが、雨やお天気が悪くても思いっきり体を動かすことができます。	その年の子どもの人数や特性に合わせて、部屋をレイアウトしたり使い方をええたり工夫しています。	活動内容が固定化しないようにプログラムを工夫していきます。1か月前に月報で活動内容をお知らせしていますが、お天気のいい日は変更してできるだけ外に出て体を動かしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちが外でかけっこの練習をしたり、ブランコや滑り台、鉄棒等の遊び方のルールを学ぶ園庭がありません。	子どもの特性から並んでかけっこをする・バトンを渡してリレーをする、遊具の危険性を理解する・安全に遊ぶルールを学ぶ等体験を通して身につけていくので、経験の機会を増やしていきたいと思っています。	お天気の日はお散歩を取り入れたり、施設内の芝スペースで走ったり雪遊びをして遊んでいます。今後、安全に近くの公園へ行ったり、外出活動を取り入れたり検討していきたいと思っています。
2	未就学児が全員一緒に同じ部屋で過ごし・同じ活動をするため、子どもたちに差ができてどうしても小さい子どもたちに職員が偏ってしまうことがあります。	日々、自分のことが1人でできるように支援していますが、まだ未就学児なので1人でできるようになった後に小さい子どもを見て大人に甘えてくる子どももいます。同年齢の子どもだけのクラスではないため難しい面があります。	子どもたちが年齢とともに次の課題へステップアップできるように、活動内容や声掛け・職員の動き等を工夫していきたいと思っています。
3			